

# うたづ 議会だより

2012  
第44号  
11.1



中央保育所の運動会が10月13日(土)に中央公園で行われました。今年のテーマは、「中央まつりだ! つながる輪・和・WA!」1歳児から5歳児までの総勢110名が笑顔で元気いっぱいがんばりました。

## Contents

平成24年第3回定例会 .....	2	~	3
一般質問 .....	4	~	7
勉強会報告 .....	7		
おいでました .....	8		
研修報告・意見交換会 .....	9		
元気ななかま・主な議会活動・編集後記 .....	10		

## 開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために様々な取り組みをしています。

## ご意見等は議会へ

(匿名によるご意見等はお受けすることができません)

# 平成24年 第3回定例会



平成24年第3回定例会は9月12日から21日まで開催し、議案5件、認定8件、同意3件を審議しました。また、一般質問は9月13日、14日に行い、7人が登壇し議論を交わしました。

## 主な内容

### 平成24年度決算

・平成23年度宇多津町一般会計歳入歳出決算

全会一致で継続審査

・平成23年度国民健康保険特別会計決算

(15億1607万円)

・老人保健特別会計決算

(5720万円)

・介護保険特別会計決算

(8億5720万円)

・後期高齢者医療特別会計決算

(1億3609万円)

・下水道事業特別会計決算

(8億3709万円)

・はなの森墓地公苑整備事業特別会計決算

(1003万円)

・水道事業会計決算

(3億4039万円)

以上全て全会一致で決算認定

## 補正予算

・平成24年度宇多津町一般会計補正予算(第2号)

(1億5370万円)

全会一致で可決

### 一般会計補正予算の主な事業内容

- 浜六番丁の土地開発公社所有地を民間売却するために町が購入する費用
- 井戸の掘削補助金
- 不活化ポリオワクチン個別予防接種委託料
- 合併処理浄化槽設置整備補助金
- 太陽光発電システム設置整備補助金
- 町道中村大門線の新設改良事業費
- 浦田町管住宅2戸の解体工事費
- 宇多津小学校及び町民体育館の修繕費

## 工事請負契約

- ・平成24年度公共下水道本村地区污水管渠築造工事請負契約 (4987万円)
- ・平成23年度宇多津小学校耐震改修等工事請負変更契約 (1億336万円)

(要旨) 主にクラス棟の南、東側外壁の改修工事で1726万円を追加する。

以上全て全会一致で可決

# 議案

## 同意

・教育委員会委員の任命について

(要旨) 氏家勲氏、大石光昭

氏、合田幸生氏を委員に任命することの同意を求める。

賛成多数で可決

(反対討論)

大津のいじめ自殺事件以来、教育委員会の在り方が問われている。以前から中央教育審議会で議論され、答申に ①制度の継続 ②政治的中立性 ③首長からの独立性…と云々である中で、人事への疑問はこの首長からの独立性についてである。教育委員会の活性化が求められる今だからこそ首長からの独立性が強く求められるが、この事案は教育長人事につながる意味があり、能力云々ということではなく、独立性の担保が危ういという観点で反対する。

## 本会議 議員の賛否

○. 賛成 ×. 反対 欠. 欠席 (議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

議案名		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
決算認定	平成23年度宇多津町一般会計歳入歳出決算を継続審査とする	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町老人保健特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成23年度宇多津町はなの森墓地公苑整備事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
議案	平成23年度宇多津町水道事業会計決算	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成24年度宇多津町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	香川縣市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の一部変更	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	香川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	平成24年度公共下水道本村地区污水管渠築造工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
同意	平成23年度宇多津小学校耐震改修等工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	教育委員会委員の任命(第4号)	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	教育委員会委員の任命(第5号)	○	○	○	○	○	欠	-	○	○
	教育委員会委員の任命(第6号)	○	○	○	○	○	欠	-	×	○

議会の活動状況報告

# 議会報告会を開催します

日時：平成24年11月9日(金) 午後7時  
受付 午後6時30分～

場所：保健センター4階 会議室

たくさんの方の参加をお待ちしています!!



フリートーク  
ご意見・ご要望を  
お聞きします

## いじめ問題と

### 教育委員会の役目



藍川佳津樹 議員

**Q** 学校でのいじめと自殺の関連性が大きな社会問題となっている。そこで教育委員会の責務について伺いたい。1. 予防対策

2. 学校指導状況 3. 自主的活動状況 4. 首長からの独立性は保たれているか。

**A** 谷川町長

教育委員会は旧態依然のままではないのか。いずれにしても町民の皆様の教育委員会であってはならないと考えている。

**A** 山分教育長

教育委員会の事務は、法律や条例、規則により町長と教育委員会の職務権限は明確に区分され、それに基づき適正に管理執行している。

**A** 亀井教育次長

いじめ予防などについては、学校活動全体を通じてお互いを思いやり、尊重するなどの意識を児童、生徒に徹底するよう努めている。教師も児童や生徒の毎日の様子

を観察し、いじめの兆候に早く気づくよう取り組んでいる。

**Q** 行政評価制度の運用と成果

制度の成果が今一つ見え難い。P(計画) D(実行) C(評価) A《改善》サイクルの積み重ねがあつて改善が進む。そこで1. 評価制度での改善事例 2. 評価制度の改善点について伺いたい。

**A** 松井政策調整室長

行政評価では、事務事業の抜本的な見直し、休・廃止等の検討というD評価がこれまで3件あつた。評価結果を受け、21年度評価のうたづうまいもんフェア事業は廃止した。23年度評価の中小企業融資事業は、条件等を改善中である。生きがい活動支援通所事業は、現在自己負担割合を増額しており、今後は廃止する方向である。今後の改善点は、個々の行政評価が町総合計画とリンクするように改善していきたい。まずはPDCAサイクルを進め、改善結果のチェックを行っている。

## いじめ防止は

### いじめっ子の想像力を養うこと



井原猛雄 議員

**Q** いじめている子は、自分がいじめっ子だと思っていない。いじめは感情のおもむくままの醜悪なゲーム遊びだ。相手が泣こうが自殺しようがその人は何も感じない。死んでもいじめっ子は変わらず、明日も笑つてご飯を食べ

べている。いじめを止めさせるのは、いじめっ子の想像力を養うことだ。世界中でお父さんお母さんは命にかけてもわが子を愛している。優越感を引き換えに、友達いじめは止めるべきだ。この指導について伺いたい。

**A** 亀井教育次長

いじめを防ぐには、家庭や学校生活での体験や活動を通して児童、生徒の規範意識やコミュニケーションスキルを高めることにより、お互いの感情を理解したり、意思を伝え合う力を育成したりして良質な人間関係を築けるよう取り組むことが必要である。また、道徳教育や人権教育を通してお互いを思いやり、人権を尊重することの大切さをこれまで以上に指導徹底し

ていくべきと考えている。なかには周囲の状況把握や人間関係の構築が生まれつき苦手な子どももいるため、医師等の専門的な支援なども必要である。

他に6件の質問をした。



楽しそうに遊ぶ子どもたち

## 新都市内に公園名を！ 歩道整備は誰のため？



西本祐子 議員

**Q** 新都市の公園には20年以上経った現在も名称がなく、建設課の資料では「1号公園」等と番号で示されている。災害対策として子どもたちの愛称も考慮して命名を。また歩道の整備にも地域住民の意見を反映させてほしい。

**A** 岡田建設課長

公園の名称は、提案の趣旨に沿って名前をつけるとともに入り口に表示板を設置するよう現在進めている。先般、児童の皆さんに公園の名前や表示板のデザインを依頼するため北小学校へ行き、快く校長先生に引き受けていただいた。新都市の歩道整備については、インターロッキング舗装で当時新しい材料で全国的にも珍しい整備であった。しかし、整備から20年以上経過し、かなり傷んでいるところもある。これまで同様レンガなどを使って補修していきたい。

**Q** 小中学校の屋根に太陽光パネルの設置を

小中学校の屋根に太陽光パネルを設置すれば環境教育にもなり非常用電源としても利用できる。また共同発電所は公共施設だけでなく、空いている屋根を利用できるので検討を。

**A** 谷川町長

公共施設への太陽光パネル設置は、震災時や国のエネルギー政策の方向性の観点から、その必要性は十分認識している。そのため、町内に多くの太陽光パネルが設置できればと考えている。現在メリットやデメリット、財政上の課題などを考慮しながら設置について検討している。共同発電所については、調査研究していきたい。

他にいじめ問題と学校ボランティアの活用についての質問をした。

## 宇多津町の将来像について



濱中保夫 議員

**Q** 町では、企業誘致をする土地はあるのか。また、町が管理所有する土地を民間に売却する考えはあるのか。人口増加対策として、たくさんある空き家を活用し、若い人に住んでもらえないか。

**A** 谷川町長

このたび3社の企業誘致が実現し、町企業誘致条例に適合する土地はなくなった。条例に適合する土地ではないが、民間に売却可能という意味での土地は、一部の地域にある。町長に就任以来、売却可能な土地については売却の方針で進めている。

人口増加対策としての空き家の活用については、現在その情報発信のための県レベルでの運用を準備し、町も参画している。一歩一歩であるが、対策を実施していきたい。

**Q** 高齢者への対応について

高齢者のひとり暮らし及び高齢者のみの生活は大変不安である。そこで町民の方々、郵便、新聞、牛乳配達の方々を巻き込み、町全体で高齢者を見守る体制の「チームおせっかい」は可能か。

**A** 高瀬保健福祉課長

現在高齢者対策として、民生委員などが中心となって高齢者への声掛け・見守り、災害時要援護者台帳の整備のため訪問活動などを行っている。老人会による友愛訪問、高齢者世帯への昼弁当の配達サービス、緊急通報装置の対応事業なども実施している。今後これらの活動に加え、郵便配達、牛乳配達、新聞配達等の方の協力を得て地域の各種団体と共同して見守り活動を推進するネットワークの整備に取り組み、直接的な見守り活動にとどまらず、日々過ごす地域コミュニティの中で人と人とのふれあいと支えあいのある町にしていきたい。

# 旧国鉄軌道跡地を整備し、活用できないか



柴村賢三 議員

**Q** 大型スーパー店南の県道33号線から南方面へのJR線沿いの町所有地を自転車、歩行者専用道路として利用すると共に、東側の休耕田への進入道路としても整備できないか伺いたい。

**A** 岡田建設課長

現在のところ、提案個所である旧国鉄軌道跡地を道路として活用することは考えていない。理由として、当該個所は高架敷に沿っていて段差もあり、周辺の土地利用ができない。また、終点接続部分の交差点処理上交通事故の危険性が高く、さらに370mの延長に對し起点と終点しか出入りできないという防犯上の問題がある。



**Q** 子どものいじめ問題について

各地で「いじめによる事件」が表面化しているが、町内の現状と過去5年間の「いじめ件数」及び「いじめ」を見逃さない体制づくり・第三者調査委員会の設立等について伺いたい。

**A** 亀井教育次長

平成20年度から現在までのいじめと判断された件数は、中学校は延べ8件である。2小学校あわせの件数は、延べ8件である。調査委員会等を設けることは現在考えていないが、いじめ発生時に校内で管理職や担任、生徒指導主事らで対応にあたる仕組みや警察、民生委員、児童相談所、保護司らの町サポートチーム連携協議会制度を設けている。

# 自主防災組織の立ち上げは



宮本 隆 議員

**Q** 自治会で自主防災組織を立ち上げていくが、現在45自治会でどれくらいの自主防災組織ができていくのか。自治会のない地域の自主防災組織はどのように指導していくのか。各防災組織はどのような訓練を行うのか。

**A** 谷川町長

現在35の自治会で組織化され町全体で44・9割になる。防災意識は3・11の震災以降高まっており、町でも組織化に向けて啓発などに努めている。この問題は町や議会をはじめ、町民一丸となって取り組む必要があり、皆様に協力をお願いしたい。

**A** 中村危機管理課長

新都市内では、自治会自体の結成同様進んでいない。組織化は大変重要であると認識しており、いつでも組織結成に向けた説明に合う体制をとっている。訓練内容は、避難訓練、炊き出し訓練、避難路の図上訓練、心肺蘇生訓練、その他実施団体の要望も組み合わせながら実施している。

**Q** LED照明器具購入費補助制度は

LEDの商品は寿命が長く、CO2削減にも効果が期待できる。器具は高所にあり、高齢者は交換するのが大変である。LEDにすれば自分の間交換は必要ない。宇多津町も補助を開始しては。

**A** 藤原住民生活課長

全国的に見ると一部の自治体で補助金制度を実施していることは承知している。補助制度によってインセンティブを働かせ、LEDの普及を図るといふ考えもあるが、各自自治体が個別にCO2削減の補助金を行うよりも全国的な規模でLED照明に限らず、家庭用エネルギー全般に対する政策が必要であるのではないかと。したがって、現時点では町単独のLED照明購入のみの補助制度は考えていない。

## スクールカウンセラー等の配置の協議を要望



大松喜次郎 議員

**Q** いじめの問題が表面化している。現状のスクールカウンセラーの配置勤務日数はどうか。問題点はないか。また、今年度はスクールソーシャルワーカーをなぜ継続雇用していないのか。そして、今後は配置にどう臨むのか。

**A** 亀井教育次長

中学校で2名のスクールカウンセラーが、あわせて年間48日間、時間数で244時間勤務している。2小学校ではそれぞれ1名が、年間12日間、時間数で48時間勤務している。今後の課題は、限られた日数の中で連絡調整をスムーズに行えるよう事前準備等に工夫が必要である。ソーシャルワーカーの雇用は、県補助の終了とともに町の配置はなくなった。今後は、国でもスクールカウンセラーなどの拡充が謳われており、国や県の制度の動向を把握しながら検討していきたい。

**Q** 目安箱の意見を公開しては

どんな内容の投書がどれ程寄せられ、どう対処しているのか。目安箱の意見や提言は、町民の町政に対する関心を増すためにも広報等で原則公表すべきである。また、記入用紙も適応するように。

**A** 谷川総務課長

目安箱は昨年の10月から設置しているが、今年8月末まで217件の意見をいただいている。内容は多種多様であるが、環境や交通に関する意見が比較的多く寄せられている。それらの意見については、内容に応じて関係各課に連絡し対応している。すぐに回答や対応できるものは行っているが、なかには速やかにできないものも多々あった。意見書の公開は、今後一定の基準のもと公表を検討したい。意見書の様式も氏名欄を設けるなどして改めたい。

他に水道余剰水の対応と有効利用についての質問をした。

## 「議員勉強会」

### 水道事業会計について

議会には、町（執行部）側から提出された決算書を審議・精査するという大切な役割があります。わかりやすく言えば、町民の方々から頂いている大切な税金の使い方をチェックすることです。

町には「一般会計」のほかに「水道事業会計」「国民保健会計」などの目的別の特別会計（お財布）があります。この

「水道事業会計」は地方公営企業会計制度に従って運営されていますが、平成26年度に制度の見直しが行われます。そこで、8年間、町の監査委員をされた高嶋博先生（公認会計士・税理士）をお招きして、勉強会を行いました。



#### ① 決算書について

一般的には、一年間の経営成績と決算期末の財政状態をあらわすもので、経営計画などに利用される。貸借対照表、損益計算書などがある。

#### ② 貸借対照表について

企業などにおいて、会計期末末日の財政状況を示すもの。総資本に占める自己資本の比率を表す自己資本比率は、長期的安全性を判断する指標となる。

#### ③ 地方公営企業法について

公営企業が中長期的に健全な経営をするためには、適切な事業投資や的確な財務情報が不可欠。改正後は、単に予算の執行状況を把握するだけでなく、公営企業として将来の健全な経営計画を策定することになる。

おいでました

大山崎町議会（京都府）5名  
8月3日（金）

●町の概要●

大阪府三島郡島本町との府境に位置し、京都府で最も面積の小さな町。

豊臣秀吉が明智光秀を打ち破る天下分け目の山崎合戦の舞台、天王山がある。

タケノコ、京山科ナス、みず菜の産地  
面積 5・97<sup>2</sup>km<sup>2</sup>  
人口 15405人



●視察内容●

- 議会活性化への取り組みについて
- 日曜議会・議会基本条例・議会報告会・議会主催の意見交換会等
- 自立のまちづくりについて
- 人事考課制度・職場風土組織の活性化等
- 合併について
- 合併をしなかった後の民意の高揚
- 合併を拒否した理由

智頭町議会（鳥取県）7名  
8月28日（火）

●町の概要●

鳥取県の南東部に位置し、鳥取藩の宿場町（智頭宿）で知られる。

面積の93%が山林で占めている。

基幹産業は、林業・酒造業・木工業等  
6町村合併の時人口13000人が現在8000人に減少、高齢化率 34・6%  
面積 224・61<sup>2</sup>km<sup>2</sup>  
人口 8009人

●視察内容●

- 議員定数の削減概要
- 議員定数のあり方と議会活動への影響
- （智頭町は8年前、18人から12人に削減）
- 議会基本条例の制定
- 議会報告会等の実施状況
- 議会運営委員会の課題等



川越市議会（埼玉県）2名  
10月9日（火）

●町の概要●

埼玉県南西部に位置し、さいたま市・川口市に次ぎ、県内3位の人口。財政力指数は、1・07

埼玉県内で第7位。地方交付税交付金不交付団体である中の1つ。

城下町としての観光と工業団地への大企業誘致に成功している。

面積 109・16<sup>2</sup>km<sup>2</sup>  
人口 346150人

●視察内容●

- PFIによる学校給食センター建設
- 施設規模・PFI直営の業務の切り分け・事業費等
- PFI事業
- 導入の背景・導入に伴う効果影響・学校保護者などの声・スケジュール
- PFIにする場合の留意点課題等
- 学校給食における取り組み
- アレルギー対応・地産地消・食育等



香川県広報発行町議会連絡協議会  
定例会及び研修会

7月23日（月）に香川県自治会館において、広報のあり方についての研修がありました。昨年は、宇多津町をはじめ、土庄・小豆島・三木・直島・綾川の各6町でしたが、今年は琴平・まんのうの2町が加わり8町の参加です。まずは、町民の皆さまに判りやすく親しみのある広報は何をすれば読んで頂けるか。

第一段階は、判りやすく難しい言葉は避ける。  
第二段階は、斬新さを狙う。

第三段階は、箸休めが必要である。

内容の原則は、一般的に使われる標準的な判りやすい口語体を使い、文語体や文語的表現を避ける。文章は、常用漢字と音訓表をもとに必要に応じてカタカナやローマ字を使う。文章は、簡潔で濃密、写真やイラストそれに図解を使用する。文はなるべく短く、一文中に何もかも盛り込もうとすると読みにくい。

皆さんに隔から隔まで読んでもらい、議会が今何をしていくかを知って頂くことが大切だと考えています。



各種団体との意見交換会

8月20日（月）各地区自治会長8名と議員7名による意見交換会が行われました。各地区における自治会活動を充実させるため、隣近所の絆を築くとともに防災活動、防災組織づくりの方策や問題点の提言がありました。

東南海地震や風水害時の住民の防災に対する危機意識を高めるための方策、避難訓練には積極的に参加して体験することの重要性と危機管理課への期待の声も…。

高齢化が進む中、特に、ひとり暮らしの方の安否確認方法や緊急時における連絡方法等については早急な対策が必要です。

行政がもっと主導的になってもらわなければ住民が動きづらいのが現状ではないかとの強い意見がありました。

「自治連合会」



「老人クラブ連合会」

10月5日（金）連合会役員15名と議員6名との意見交換会が行われました。

前回、提言のあった保健センターの使用料の改定については、もう少し調整の時間が必要です。

臨海公園に屋外時計の設置・防災ヘルメットの補助・巡回乗合バスの運行・銭湯の設置や健康器具の整備等、高齢者が生きがいを持って生活するために、環境を整備してほしい旨の要望や意見がありました。



今回「自治連合会」と「老人クラブ連合会」の皆さんの貴重なご意見をいただき、議員も積極的に避難訓練等に参加すると共に、町政に反映できるよう議会でも議論を進めて行く所存です。

